



青年江原会報

発行・青年江原会
〒862-0972 熊本市新大江1-8
熊本高等学校江原会館内
096-362-5866
制作・青年江原会編集委員会
096-351-1548



一年を振り返って

青年江原会会長
田中隆臣 (54歳)

二〇〇一年三月、青年江原会総会において、前高木会長から私が青年江原会会長を引き継いで、早いもので一年が過ぎようとしています。この一年というものは、母校が前年に百周年を迎え、新たな一歩を踏み出す意味深い年であり、会長を受けたときは身の引き締まる思いでした。実際、母校百周年には、学校、江原会そして我々青年江原会もその成功に向け、全力で取り組み、あの大成をみたわけですが、そのエネルギー、パワーは並々ならぬもので、それを放出してしまつた皆をどのようにまとめ、テンションを引

き出すかが、私の使命とこの一年取り組んでまいりました。しかし、そこはやはり江原会員、変わらぬ情熱と汗をもって57会を中心とした藤崎八幡宮大祭をはじめ、様々な活動を行い、また先輩方からも温かい厚情を賜り、母校一〇一年を飾る素晴らしい一年であったと思います。そして、祭りにおいては57会が58会に祭りの心なるものを引き継いだように、それぞれが次の代に先輩から脈々と続く伝統を引き継いでくれたものと思います。この伝統の継承こそが青年江原会の務めであり、今までも、これからも続いてい

くものであります。しかし、それにはもの凄いなエネルギーと時間が必要です。知らぬ人には「浪費」と映るかも知れませんが、ただ、この「浪費」を経験した人は皆、感じていたと思えますが、それを通じて学年は「絆」を強くするものです。高校時代にはしゃべったこともないような同級生であつても人は皆年老いたら昔を懐かしむものです。また、だんだん故郷へUターンする者も増えてくるでしょう。その時、高校時代を共に過ごした多くの仲間がいてくれたら、素晴らしいものです。そして、美味しい酒が飲めるはずで、それを我々青年江原会はやっているのではと思えます。そして私もそのことを少しは後輩へ伝えられた一年だったので・・・。



江原会会長
御厨 一熊

激変する世界情勢の中で、国内もまた経済の見通しのない低迷、世情の不安など、新世紀の二年目にも、日本の在るべき方向が、各般にわたり問われている様に思えます。昨年春、校友皆様のご推挙を賜り第七代会長の大役を引き継がせて戴き、青年江原会をはじめ校友の皆様を温かいご理解・ご支援を頂戴し、心から感謝申し上げます。江原会百年、凡そ熊中五〇年、熊高五〇年の歴史は、日本の大きなうねりの中で「土君子」の各々の時代の困難に立ち向かって来た歴史であつた様に思えます。今や、江原会三万の皆様方が、厳しい状況の中で、国内はもとより海外までも広く活躍されていることは、何より喜ばしいことであつた。

昨年五月、前事務局長の野口慎一郎先生の後を引き継ぎ、事務局の仕事に携わつて参りました。まだ、これまでの事が十二分に理解できておらず、いろいろこの迷惑をおかけしている事もあるかと思ひますが、皆様にご助言いただき、少しでも江原会の発展、及び母校のお役に立てるよう努力していく覚悟でありますのでご容赦頂きたいと思ひます。さて振り返りますと一昨年は、創立百周年記念事業を見事成功裏に終了できましたのは、ひとえに卒業生の皆様、先輩諸氏、及び、なかでも青年江原会の皆様のおかげと情熱に支えられるところが大きかつたものと確信致します。そのことは昨年、藤崎宮例大祭を中心とした青年江原会の皆様が若い力とエネルギーに触れていく中で実感していったものです。青年江原会の皆様は活動の至るところで見せて頂き、江原会活動をリードしていただくのは青年江原会であり、江原会活動のパワーの源泉であると感じました。また、昨年の八月をいただき乍ら、更なる江原会の新鮮な活動を期待して進みます。共に肩を組んで進みたいと思ひます。



江原会事務局長
池田清志 (高23回・昭和46年卒)

のそれぞれの記念樹が記念の標注とともに、所狭しと植樹されていますが、今年も紅梅、白梅の大樹が開花を始め、三年生諸君に皆様の無言の激励を伝えています。ところで、教育改革が叫ばれ、学校完全週五日制の実施等学校にも新しい波が押し寄せています。この新しい波に対応すべく、今年も本校には全国各地の高等学校から既に三十五校の学校訪問がありました。各学校が進むべき方向を模索している中、本校には「土君子」精神と培われた

伝統が営々と生徒諸君に受け継がれています。私はあらためて本校に課せられた使命の重さを再認識し、二十一世紀を担う人材の育成こそが本校の責務であることと確信し、全職員一丸となつて皆様の期待にそえるよう努めてまいりたいと思ひます。今後とも、青年江原会の皆様へ御支援、御協力をお願いいたします。終わりになりますが、今後の青年江原会の益々の御発展と会員の皆様の御活躍を心から祈念申し上げます。

現在、学校には今後の教育革新にむけ、『二十一世紀の土君子像』に求められるものは何かを論議し、教育に活かしたいという熱意があります。二十一世紀はどのような展開になるのか予測困難ではありますが、先輩諸氏におかれましてはますます活躍され、江原会活動と母校の発展にご支援頂きますようお願い申し上げます。



校長 畠村 貴

とができました。本年度は、全国高校総体(ひのくに新世紀総体)が、本県で開催され、本校もバスケットボール、水球の会場、卓球の練習会場として、各

県を代表する選手諸君の熱戦の舞台となりました。この大会では、一人一役を言葉に、全県下の高校生が参加する大会をめざしました。本校生も会場準備の他、

各所で県下の高校生をリードし、大会成功の大きな原動力となりました。また、大会では、山岳部が全国の頂点に立つという快挙を成し遂げ、全校生で感激を分か

青年江原会の皆様には、益々御清祥のこととお慶び申し上げます。本校第十九代校長として、四月に着任以来、青年江原会の皆様へ御挨拶に御案内いただき、藤崎宮例大祭飾り馬奉納を初めとして数多くの行事に参加させていただきました。

青年江原会員の皆様の心意気、情熱、団結力、母校に対する熱い思いを強く感じるとともに、創立以来培われてきた土君子精神をその確かな支柱として後輩諸君に啓

選手、補助役員式典アナウンサー、開会式の公開演技(二年)、吹奏楽、合唱隊に全員が積極的に参加し、リーダー性、創造的行動力、臨機応変の対応力のもと、

ちあつていきたいと思います。現在、立春を迎え、三年生諸君は次なる飛躍の第一関門突破に向け、全力で取り組んでいます。校内には、先輩の皆様方

に、先輩の皆様方

をいただき乍ら、更なる江原会の新鮮な活動を期待して進みます。共に肩を組んで進みたいと思ひます。

新世紀に羽ばたけ江原会



御礼

平成十三年度
藤崎八幡宮秋季例大祭
飾馬奉納実行学年
実行委員長

馬場大果志
(57会)



今年は本
当に暑い夏
でした。そ
して例大祭
では本場に
熱く燃える
ことができ
ました。造
花を飾り付
けて、花見
の宴をさせ
て頂いたの
が、ついで
この間、事
務所を開き、ご
寄付を頂き
にまわりな
がら、前夜
祭の練習、
飾り卸、本
祭の準備と
今考えます
と信じられ
ないような
膨大な仕事
を本場にみ
んなやっつ
きたんだな
という実感
がやっとな
りて参りま
した。さら
ない点はか
りが多々あ
り、ご迷惑
もおかけい
たしました。

またテレビ放送等に
代表される我まを
させて頂いたことも
数多くあったかと思
います。今年も無
事、奉納ができました
たことを、報告させ
て頂く事でお許し願
いたいと存じます。
青年江原会の三役
には物心両面で支え
て頂くのみならず、
最後の解散時に私に
対して、お疲れさん
の言葉だけでなく、
心に残る口上を述べ
て頂きまして本当に
感激いたしました。
また各隊の新隊長
におかれましては、
初年度から本場に責
任の重い「隊長」と
いう役割を果たされ
ながら、例年以上に
応援して頂きました。
今年、感じました
「江原会の祭り」を
要約いたしますと、
『すべて事象が「知
的なゲーム」であり、
智慧をこぼり、工夫
を怠らず、お世話に
なった様々な人々に
対する感謝の念を忘
れず、同級生と力
を合わせながら、そ
の知的ゲームに勝ち
抜いていけるよう最
大限の努力を続け、
そして結果を出さな
ければならない」と
いったところではし
ょうか。
江原会は本場に、
ある面では厳しいとこ
ろでありますが、す
ばらしい才能の宝庫
であるのみならず、
与えるものがあるこ
ろ、与えられたもの
は感謝の念を忘れず、
本物の信頼関係に支
えられた、人格的に
も最高の集団である
と改めて確信いたし
ました。
このようないい形
に導いて頂きました
先輩諸氏、後輩の皆
様に57会一同、心よ
り御礼申し上げます。
一年間大変お世話に
なりました。ありが
とございました。
そして、今年の58
会の祭りに対しまし
ても、昨年も増し
て、ご支援、ご声援を
賜りますようお願い
いたします。

藤崎八幡宮秋季例大祭飾馬奉納に恋をして...

三代目総取締

片山 和隆
(高21回昭和44年卒)

「この祭を全国区にしたい。」これが私の現在の最大関心事だ。参加者が一年をかけて蓄えに蓄えたエネルギーがこの一日に爆発する。まるで歯の奥がギリギリするような片思いが突然相思相愛になった日にも似て...。では何故？年を重ねるにつれ一歩一歩更なるものに仕上がっていきはすのものがまるで皆の熱情を...

「この祭を全国区にしたい。」これが私の現在の最大関心事だ。参加者が一年をかけて蓄えに蓄えたエネルギーがこの一日に爆発する。まるで歯の奥がギリギリするような片思いが突然相思相愛になった日にも似て...。では何故？年を重ねるにつれ一歩一歩更なるものに仕上がっていきはすのものがまるで皆の熱情を...



左から順に初代高宮宏、3代片山和隆、2代中川攻平総取締

総取締を辞するにあたって

前総取締 中川 攻平
(高16回昭和39年卒)

第二十一回奉納の際、初代高宮先輩より総取締の任を引き継ぎ、以来七年間、祭りや燃えに燃えてもらうために、ある時は厳しくある時は共に狂いつつ役目を果たして来たが、今回、新世紀という区切りをもって任を辞する事となった。担当学年を順送りにして行くという青

いたくなら、創生期のまつりを支えられた諸先輩方の御苦労に思いを馳せ、その後を継承した方々の足跡を見失わず、当該学年としてのパワートままとりを誇らしげに示していた。楽しい。しかし、楽しみがまつりと悔ることなれば、まつりは人生の縮図かも。

高35回、58会の山崎友裕です。脈々と流れる伝統ある江原会の祭りをお世話することになりました。どうぞ宜しくお願いいたします。昨年の九月十五日、57会の感動的かつ見事な奉納が行われた夜より58会へ引き継がれ、我々の年がスタートいたしました。個人的には50会の

振り返ると、祭りも最初の頃は手探りの状態で、例えば口上を始めたのも36会の飾り卸しの時だった。それまでは、運動会のスタートピストルが合図だったが、それではあまりに見苦しいという事で、44会の永田求と前の晩から練習して聖ヶ塔病院の前で披露したのが始まりだった。担当学年を三学年以上の会長学年が面倒を見るという関係も、39会の時に、なんさま高宮さんよつか俺が自立たやいかんという事で、それ

一致団結して素晴らしい奉納をつくりあげようと思気込んでおる次第です。私にとってこの祭りは、日本人であること、熊本人であること、熊本高校の卒業生であることを再認識させてもらっている場でもあります。先日仕事の合間に朝随兵夕随兵で通る新町・練兵町界隈を車で走りまして、このあたりも随分都市化が進んだものだと感じながら、まだまだ古の雰囲気を残すこの街で、九月十五日にはそろいの法被に身を包み祭り一色に様変わりすることをイメージすると、改めて大役を引き受けたことに身震いがいたしました。プロ野球もプロサッカーもないこの町に、こんなに素晴らしい江原会の祭りがある。今まで先輩方が大切に

その祭り。我々58会もその意志を受け継ぐべく、頼もしい同級生が結集中です。日本人として、熊本人として、江原会として、粋に陽気に、今の不況混迷の世の中をパーツと吹き飛ばそうという気持ちでいっぱいでありませう。来る九月十五日、多くの皆様の笑顔に出会えるよう、一生懸命頑張ります。その為にも、多数の皆様のご参加をお待ちしております。そして、どうか皆様の指導・鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

馬廻り隊「隼」
副隊長：福島 理 090-5388-5626
事務局長：福池 徹 090-1977-1402
馬廻り隊「匠」
事務局長：松崎 克彦 (株)熊本サービスセンター 096-352-5411
楽隊「風雷神」
副隊長：大多新 勝徳 090-3073-8832

そのついでに現役生に言うておくが、同級生は大事にしておけよ。今は分からんかも知れんが、卒業して十五年位経つと友達の有難さがよく分かる。迷惑掛けとる者は今の内に謝つとけよ。そして二〇年後は祭りの担当学年だけん、伝統を絶やさんご頑張りしてくれよ、頼んだぞ。

尚、お祭りを盛り上げる若い力を大募集いたします。青年江原会には祭りをリードする三つの隊があります。馬廻り隊「隼」、練隊「匠」、楽隊「風雷神」です。お祭りをもっと知りた。お祭りにもっと関わりたい。そして、もっとお祭りではじけたいと考えている諸君。君たちの参加を待っています。連絡先は次のとおり。

そのついでに現役生に言うておくが、同級生は大事にしておけよ。今は分からんかも知れんが、卒業して十五年位経つと友達の有難さがよく分かる。迷惑掛けとる者は今の内に謝つとけよ。そして二〇年後は祭りの担当学年だけん、伝統を絶やさんご頑張りしてくれよ、頼んだぞ。

レクリエーション大会を終えて

下川 泰 59歳

平成十三年六月、青年江原会の正式行事であるレクリエーションとして私たちは、ポウリング大会を企画しました。

日程から内容まですべて自分たちが決定するという事で、レクリエーションの前日まで同級生たちと幾度となく打ち合わせを繰り返しました。他にもある行事の中で、日程を決定し、天候や運営法などまで考え、日帰り旅行やソフトバレーのほかも案をだし、最終的にポウリングをすることにしました。

六〇名弱の参加者があり、順位によって景品も渡せるように準備して、皆さんに喜んでもらえたいと思います。特に、先輩から提供していただいた景品のひとつが子供たちに大変評判がよく喜んでもらえたと、また、若い方たちより青年江原会で精力的に活動されている年代の方々が上手で、私たちが上の方々に楽しんでもらえていたことも嬉しく思います。

かして動いてもらえました。準備のため時間前にムリ言って入らせてもらったり、昼食兼表彰会場にもゲームが終わって二時間という契約だったのも関係なしで使わせてもらえたのも彼のおかげでした。

同級生にはいろんな事をしていて、いろいろなことができて、自分も知らな

一昨年の母校創立百周年を記念して「熊本高校運動部OB会連合会」です。が遅ればせながら、昨年十一月の江原会総会の際に設立

「熊本高校運動部OB会連合会」です。が遅ればせながら、昨年十一月の江原会総会の際に設立

「熊本高校運動部OB会連合会」発足に当たり

井上 清明 (高21回昭和44年卒)

クラブ名	OB会の名称	連絡先
バドミントン	熊本高校バドミントン部OB会	会長 松本 孝一 096-352-9228 事務局
バスケットボール	熊本高校バスケットボールOB・OG会	会長 眞庭 博明 096-352-1456 事務局 松村 庸正 096-352-9770
野球	江 泳 会	会長 吉本 輝人 096-242-6267 事務局 田辺 和弘
水球(水泳)	紫 泳 会	会長 井上 清明 096-360-2808 事務局 岩崎 和彦 096-365-3582
ラグビー	熊本高校ラグビー部OB会	会長 金森 秀雄 096-381-1362 事務局 福永 憲幸 096-286-0609
弓道	熊本高校弓道部OB会	会長 森田 充 096-367-1159 事務局 中尾 寿孝 096-384-8484
バレーボール	熊本高校バレーボール部同窓会	会長 鶴田 勝次 096-367-7711 事務局 米村 征一郎 096-372-5315
サッカー	熊本中学・熊本高校サッカー部OB会	会長 甲田 憲一 096-382-0475 事務局 田尻 亮司 096-245-4457
ハンドボール	熊本高校ハンドボール部OB会	会長 篠塚 年洋 096-371-3611 事務局
ソフトテニス	江原会ソフトテニスOB会	会長 松下 尚行 096-337-8868 事務局 高宗 孝輔 096-382-7008
卓球	熊高卓球部OB会	会長 坂本 旭 096-354-0226 事務局 高田 英機 096-383-4565
陸上競技	陸上競技OB会	会長 村山 陸奥雄 096-364-5494 事務局
柔道	熊本高校柔道会	会長 寺本 敬司 096-227-2110 事務局 川端 孝幸 096-366-8198
空手	熊本高校空手道部OB会	会長 葵 洋孝 096-323-5115 事務局 下村 正彦 096-339-7561
剣道	江原会剣道友会	会長 中山 紀雄 096-372-2719 事務局 積 是明 096-339-9227
山岳	山岳部OB会	会長 竹下 雄二 096-363-0959 事務局 齋藤 弘毅 096-325-3679
テニス	熊本高校硬式庭球部OB会	会長 高柳 隆一 096-382-3906 事務局 東野 裕司 096-384-2288
ホッケー	ホッケーOB会(仮称)	会長 宮崎 尚徳 096-369-2546 事務局 津田 雄次 096-385-7038
体操(新体操)	体操部OB会	会長 久野 恭義 096-367-6337 事務局
ボート	熊本高校ボート部OB会	会長 名越 敬紘 096-363-0111 事務局 下川 寛 096-383-8225
応援団	応援団部OB会	会長 富田 潤 096-359-6116 事務局 竹本 聖一 096-357-3870
ボクシング	熊高ボクシングOB会	会長 菊本 寿一郎 096-378-5000 事務局 大嶋 静雄 096-378-5253

13年10月31日現在・順不同

平成十三年度青年江原会

忘年会を振り返って



堤 裕高 (60歳)

日増しに暖かくなってきた。江原会の皆様は、川先輩からこの忘年会の幹事を引き継ぎ、昨年の夏頃から60歳の同期と打ち合わせを始めました。

忘年会の振り返り。忘年会の振り返り。忘年会の振り返り。

忘年会の振り返り。忘年会の振り返り。忘年会の振り返り。

忘年会の振り返り。忘年会の振り返り。忘年会の振り返り。

前夜祭に参加して

寺本久美子(平11会)



一昨年、私は壺屋塾に通う浪人生でした。随行列に参加すれば合格するというジンクスがあり、私の友人達は皆参加すると意気込んで行っていました。当の私には親戚一同の涙ぐましい努力により、紙オムツからの祭りつ子に育て上げられたため、「参加することには変わりはない。高校が百周年記念だから高校から参加する！」と公言して

忘年会の振り返り。忘年会の振り返り。忘年会の振り返り。

忘年会の振り返り。忘年会の振り返り。忘年会の振り返り。

河合サテライト講座

河合サテライトネットワーク校 — 知究館 —

究極の映像授業で実力アップ!

河合サテライト講座では、コンピューター・グラフィックスをはじめ各種実験映像、ロケ映像などの映像素材を駆使して、「黒板とチョークを超えた」、よりわかりやすく本質的な理解を深める“進化した授業”を提供します。



熊本ゼミナール・高校部
〒862-0971
熊本市大江6丁目25-17
TEL.096-371-2001

志望校が母校になる。代ゼミゼミナール

新学術受付中

スカラシップ生試験

3月4・7・11・14・18・20・25・28日 上記試験日以降(4月)も随時実施いたします。

大学受験科・高校・現役スクールのスカラシップ生選考試験において成績優秀者は、入学時に年間学費の全額または一部を免除いたします。

高校・現役スクール 3月2・9・16・20・23・28・30日

代ゼミ説明会 3月11・18・25・28(12:20~)

ここが凄い!! 代ゼミの自習室

- ・正月・盆休みも関係なく年中無休です。
- ・熊本で一番長く自習できます。(8:30~22:10)
- ・個人机で広々自習ができます。
- ・ベテラン監督常駐で、最高の環境が保たれています。

春期講習会 受付中 開講 3/19

代ゼミホームページ <http://www.yozemiac.jp/>
 モードデスクホームページ <http://www.yozemiac.jp/>
 代々木ゼミナール/JEC日本入試センター

熊本校 〒860-0047 熊本市春日1-12-10 ☎096-351-3111(大代)

前夜祭本番当日のことは緊張していたのでほとんど覚えていないのですが、後日ニュースカイホテルで、締め挨拶をいざと会場知らされ、なぜ私?と目が点になり、先輩方には御心配を

前夜祭本番当日のことは緊張していたのでほとんど覚えていないのですが、後日ニュースカイホテルで、締め挨拶をいざと会場知らされ、なぜ私?と目が点になり、先輩方には御心配を

前年度は緊張のあまりに記憶が残っていない前夜祭、今回はその分を補い、更に上乗せして十代最後のそして新世紀の思い出にと思気込んでおりました。ところが幕から出た瞬間、思いっきり滑って尻もちをついてしまいました。

前年度は緊張のあまりに記憶が残っていない前夜祭、今回はその分を補い、更に上乗せして十代最後のそして新世紀の思い出にと思気込んでおりました。ところが幕から出た瞬間、思いっきり滑って尻もちをついてしまいました。

